

2023 年度 教育後援「桐光会」総会 議事概要

日 時：2023 年 7 月 1 日（土）13：00～14：41

場 所：目白大学新宿キャンパス 8 号館地下 2 階会議室

出席者：運営委員～保護者 36 名、前会長 1 名、教職員 8 名、他に幹事等 10 名
（別途委任状 11 名）

議事

1. 2023 年度会長、副会長及び監査役の選出（敬称略）

- ・ 審議の結果、第 1 号議案は資料 1-1 のとおり承認された。
- ・ なお、骨子は次のとおり。

	役 職	氏 名
役 員	会 長	藤田 竜太
	副会長	山口 智子
	監査役	芝尾 悦子、衛藤 ひかり

2. 2022 年度事業報告

- ・ 審議の結果、第 2 号議案は資料 2 のとおり承認された。
- ・ なお、骨子は次のとおり。

(1) 交流委員会

- ・ 保護者対象講演会を、10月29日(土)さいたま岩槻キャンパスにて実施した。講師は本学作業療法学科重村教授で講演テーマは「こういう時代だから知ろう、災害とこころ：パンデミックから戦争まで」であった。謝礼金は、学内規定に則り50,000円とした。
- ・ 学園祭が両キャンパスとも実施されたため、保護者対象に食券を配布した。新宿キャンパス：160,000円、さいたま岩槻キャンパス：11,000円。
- ・ 東京都歴史文化財団パートナーシップ制度の継続加入。
- ・ さいたま岩槻キャンパスにて災害ボランティア講習会を実施した(9/17, 24)。参加学生は51名、費用は413,000円、講習会はオンラインで実施された。
- ・ 保護者会の飲料代補助：新宿キャンパス9/25短大85名、10/9大学308名参加、飲料代合計36,054円。

(2) 奨学委員会

- ・ 桐光会奨学金（「応急支援奨学金」「修学支援奨学金」）の支給実績は、採用人数 54 名、総支給額 20,058,400 円であった。
- ・ 奨学金種別ごとの支給決定額は、応急支援奨学金が11,113,400円（24名）、修学支援奨学金が8,945,000円（30名）となった。

(3) 広報委員会

- ・ 桐光会リーフレットの改訂を行い、4,000部を制作した（299,805円）。2023年度入学者選抜の合格者・入学予定者へ「合格発表書類」「入学手続き書類」に同封して配付した。
- ・ 桐光会卓上カレンダーの改訂を行い6,900部と、在校生保護者宛封筒・挨拶状各4,900枚制作し、卓上カレンダーを郵送した（2,654,007円）。新1年次生についてはオリエンテーションで配布した。
- ・ 委員会を3回行い、9月と11月はハイブリットで開催し、3月は対面で開催した。桐光会リーフレット改訂、カレンダーの使用に関するアンケートを実施し、作成についての意見交換を行ったうえで、デザインや記載内容を見直した。アンケート郵送費・会議費として34,472円を支出した。

(4) 総務・会計委員会

- ・ 防災用備蓄品 1,400名分を継続して補助した（2,998,000円）。
- ・ 障がい等学生への支援992,200円（自走式車椅子3台購入95,700円、エレベーター内安全確認用鏡設置896,500円）。
- ・ 卒業記念品として、卒業アルバムの代金補助（上限一人10,000円）新宿キャンパス1,188名（大学1,005名＋短大183名）、さいたま岩槻キャンパス251名。
- ・ 申請のあった15学科に対して国家試験等（就職支援含む）の教材費（一人3,000円上限）、計3,352,942円を補助した。
- ・ 目白学園百周年事業へ1,700万円寄付（桐光会発足時（2010年度）から2021年度までのおおよその卒業生数×1,000円として算出）。

3. 2022年度決算及び会計監査報告

- ・ 審議の結果、第3号議案は資料3のとおり承認された。
- ・ なお、骨子は次のとおり。

2022年度 収支報告書・監査報告書				
(単位：円)				
収入の部	前年度繰越金		101,358,897	
	会費		58,704,000	
	収入合計			160,062,897
支出の部	講演会関連経費	交流	163,000	講演料等
	桐和祭・桐榮祭関連経費	交流	171,000	大学祭食券等
	パートナーシップ事業経費	交流	750,000	年会費
	災害ボランティア講習会経費	交流	413,000	講習会経費
	奨学金	奨学	20,058,400	支給奨学金
	奨学金案内関連経費	奨学	1,226,838	印刷費等
	カレンダー作成等事業経費	広報	2,654,007	制作費等
	広報誌作成関連経費	広報	299,805	印刷費
	弔事見舞金	総務・会計	900,000	見舞金
	障がい等学生支援	総務・会計	992,200	自走式車椅子他
	防災備蓄品支援	総務・会計	2,998,000	備蓄品等寄付
	国家資格等教材補助費	総務・会計	3,352,942	各種リスト代補助

	(就職支援含む)			
	卒業記念アルバム代補助	総務・会計	14,364,900	アルバム代補助
	学園創立百周年事業寄付	総務・会計	17,000,000	
	会議費	共通	427,358	交通費等
	支 出 計		65,771,450	
	翌年度繰越金		94,291,447	

4. 2023年度常任委員及び運営委員の会務について（敬称略）

- ・ 審議の結果、第4号議案は資料4のとおり承認された。
- ・ なお、各委員会の委員長、副委員長は次のとおり。

	委員会	氏 名（役職）
常任委員	交流	石田 朱美（委員長）
		星野 英紀（副委員長）
	奨学	多田 聡子（委員長）
		片岡 詩麻（副委員長）
広報	久保 貴裕（委員長）	
	鈴木 貴子（副委員長）	
総務・会計	米久保 由香（委員長）	
	溝田 一恵（副委員長）	

5. 2023年度事業計画・予算について

- ・ 審議の結果、第5号議案は資料5-1、5-2、5-3のとおり承認された。
- ・ なお、骨子は次のとおり。

(1) 交流委員会

- ・ 保護者対象講演会は、入学式で開催を予定。講演者・日程・テーマ等は未定（講演者は予算規模に合わせて選定するが、200万と仮定）。
- ・ 学園祭来場促進策として食券の配布。（両キャンパス）
新宿キャンパス@1,000円（食堂利用券2枚）×300=30万円
さいたま岩槻キャンパス@1,000円×100=10万円
- ・ 東京都歴史文化財団パートナーシップ制度入会延長 概算65万円（学芸員実習受け入れ先確保のため継続）。
- ・ 災害ボランティア講習会参加経費の補助（さいたま岩槻キャンパス参加学生50名）@10,000円×50名=50万円。
- ・ 新宿キャンパス学生ボランティア保険加入費 14万円（@350円×400人）。
- ・ 保護者会開催の場合、飲料代の補助（新宿5万円、さいたま岩槻5万円）。

(2) 奨学委員会

- ・ 桐光会奨学金規程に基づき、奨学金を適正に支給する。
- ・ 2024年度に予定されている修学支援新制度の拡充に向けた議論の動向を注視し、必要に応じて桐光会奨学金の制度変更について検討を行う。

(3) 広報委員会

- ・ 桐光会リーフレット 5,000 部制作。約 40 万円。
- ・ 桐光会卓上カレンダー6,900部制作および発送用封筒と挨拶文4,900枚作成。約300万円。
- ・ 桐光会の活動内容をPRするためホームページを活用して広報を行う。

(4) 総務・会計委員会

- ・ 防災備蓄品の補助を行う（5年目） 約300万円。
- ・ 障がい等学生への支援（タッチスクリーンマイク-補聴器用・関連機器用マイク、UDトークダウンロード用タブレット、ノートブック支援PC等購入）ほか約100万円。
- ・ 卒業記念品として、卒業アルバムの代金補助（一人10,000円）。
- ・ 国家試験等（就職支援含む）の教材費補助（一人3,000円）。
- ・ 学内通信環境の整備・充実 約1,000万円。
- ・ スクールバス運行円滑化対策として（さいたま岩槻キャンパス）1限目の登校時間分散のため学生へ軽食提供 約115万円。

(5) 2023 年度予算

2023年度教育後援桐光会 予算書			
			(単位: 円)
収入の部	前年度繰越金		94,291,447
	会費収入		58,000,000
	収入合計 (A)		152,291,447
支出の部	交流	会議費	100,000
		講演会関連経費	2,000,000
		桐和祭・桐榮祭関連経費	400,000
		パートナーシップ事業経費	650,000
		ボランティア講習、保険加入等経費	640,000
	奨学	会議費	250,000
		奨学金	40,000,000
		奨学金案内関連経費	1,800,000
	広報	会議費	80,000
		カレンダー作成等事業経費	3,000,000
		広報誌作成関連経費	400,000
	総務・会計	会議費	600,000
		弔事見舞金	1,000,000
		障がい等学生支援	1,000,000
		防災備蓄品	3,000,000

	環境整備（無線LANなど）補助	10,000,000
	国家資格等教材費補助（就職支援含む）	4,800,000
	卒業記念アルバム代補助	15,690,000
	スクールバス運行円滑化対策	1,150,000
	支 出 小 計 (B)	86,560,000
	翌年度繰越金 (C) = (A) - (B)	65,731,447
	支 出 合 計 (B) + (C)	152,291,447

6. その他

- ・桐光会運営委員、教職員間にて教学及び学生生活について意見交換を行った。
- ・2022年度桐光会会長を務めていただいた松浦智世様より、ご挨拶いただいた。

以上